

平成27年度全国学力・学習状況調査

<長崎県の結果の概要>

調査の概要

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施対象

県内国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

小学校調査...小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校調査...中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査内容

(1) 教科に関する調査

国語、算数・数学

...主として「知識」に関する問題をA問題、主として「活用」に関する問題をB問題として調査

理科

...主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

(2) 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査期日 平成27年4月21日(火)

5 調査実施校数及び児童・生徒数

(1) 実施校数 521校(調査対象者の在籍する学校の総数 521校)

(小学校:344校、中学校:177校)

(2) 参加児童・生徒数

小学校6年生 約12,000人

中学校3年生 約12,200人

全国学力・学習状況調査「結果の概要」

1 平均正答率

< 県全体（公立小・中学校、県立中・特別支援学校） >

校種	教科	A問題（知識）		B問題（活用）	
		本県	全国	本県	全国
小学校	国語	69.0	70.0	64.1	65.4
	算数	74.0	75.2	43.5	45.0
	理科	58.8	60.8	理科は、A問題、B問題を一体的に出題するため、A問題・B問題の区別はない。	
中学校	国語	75.5	75.8	66.0	65.8
	数学	64.1	64.4	40.3	41.6
	理科	51.6	53.0	理科は、A問題、B問題を一体的に出題するため、A問題・B問題の区別はない。	

< 県立中学校（3校）の平均 >

教科	A問題（知識）		B問題（活用）	
	本県	全国	本県	全国
国語	94.4	75.8	84.3	65.8
数学	91.1	64.4	78.6	41.6
理科	80.9	53.0	理科は、A問題、B問題を一体的に出題するため、A問題・B問題の区別はない。	

< 参考 > 平成26年度の調査結果（公立小・中学校、県立中・特別支援学校）

校種	教科	A問題（知識）		B問題（活用）	
		本県	全国	本県	全国
小学校	国語	71.9	72.9	53.5	55.5
	算数	78.0	78.1	57.2	58.2
中学校	国語	79.0	79.4	49.8	51.0
	数学	66.9	67.4	59.2	59.8

数値はすべて文部科学省が公表したデータによる。

2 結果の総括

例年、調査をしている国語、算数・数学では、全体的な傾向として、小・中学校ともに、ほぼ昨年度と変わらない状況にある。しかし、B問題については、国語において改善傾向が見られ、中学校では全国平均を上回った。

小・中学校とも、文章記述を要する問題に課題が見られる。

規範意識は高く、基本的な生活習慣は身に付いている。

3 各教科の状況

：改善や定着が図られている傾向にある事項 ：課題となる事項

()内は問題の番号

< 小学校国語 >

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと (A¹)

具体的な事例を挙げて説明する文章を書くこと (A⁴)

目的に応じ、中心となる語や文を捉えること (B²ーイ)

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること (A⁵二)

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと (B¹三)

< 小学校算数 >

整数の加法 (A²1)

式で表現された数量の関係を図と関連付けること (A⁸)

円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、円の特徴を選ぶこと (A⁵1)

20%増量した商品の内容量が480mLのとき、増量前の量を求めること
(基準量、比較量、割合の関係を捉え、基準量を求めること) (B²2)

< 小学校理科 >

示された実験器具(メスシリンダー)の名称を正しく表すこと (³4)

水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がった時に出てくる砂糖の量を求め、その根拠を示すこと (³6)

顕微鏡の適切な操作方法を身に付けること (²4)

< 中学校国語 >

○手紙の書き方を理解して書くこと (A⁹六)

○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること (A³三)

○状況に応じて、資料を活用して書くこと (B¹一)

○表現の工夫について自分の考えをもつこと (B³二)

単語の類別について理解すること (A⁹四)

複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと (B²三)

< 中学校数学 >

空間において直線と平面が垂直であることについて理解すること (A $\boxed{5}$ 1)

反比例のグラフの特徴を理解すること (A $\boxed{10}$ 1)

中央値を求めること (A $\boxed{14}$ 1)

連立二元一次方程式をつくること (A $\boxed{3}$ 3)

式を基に、2つの数量の関係が比例であることを判断すること (B $\boxed{6}$ 1)

< 中学校理科 >

背骨のある動物の名称を、セキツイ動物と表すこと ($\boxed{8}$ 1)

塩化ナトリウムの正しい化学式を選択すること ($\boxed{1}$ 1)

電磁誘導を利用した技術の仕組みを示す場面において、指定された言葉を用いて説明すること ($\boxed{5}$ 2)

新たな疑問から、適切な課題を設定すること ($\boxed{7}$ 3)

4 質問紙調査の状況 (: 良好状況 : 改善を要する状況)

< 学習状況・生活習慣等の調査結果について >

「人の気持ちが分かり、人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」と思っている児童生徒の割合は、昨年度までと同様に非常に高い。

「朝食を毎日食べる」など基本的な生活習慣が確立されている児童生徒の割合は高い。

「携帯電話やスマートフォンの使用が1時間未満」の児童生徒の割合は、全国平均を上回っており、かつ、中学生においては、昨年度よりも増加している。

「月～金において、授業以外に2時間以上の学習」をしている中学生の割合は、全国平均を下回っている。

「テレビゲームの使用が1時間未満」の児童生徒の割合は、全国平均を上回ってはいるが、年々減少傾向にある。

「授業のはじめに目標が示されている」「授業の最後に学習内容を振り返る活動が行われた」という児童生徒の割合が、小学生では全国平均を上回っているが、中学生では下回っている。

平成27年度 小学6年生・中学3年生の学習状況・生活習慣等の調査結果

(全国学力・学習状況調査 質問紙調査項目 87項目からの抜粋)

【道徳性や規範意識】

調査項目	小 学 校						中 学 校					
	H26			H27			H26			H27		
	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比
1 人の気持ちが分かる人間になりたい	95.0	94.4	+0.6	94.9	93.9	+1.0	96.4	95.3	+1.1	96.4	94.9	+1.5
2 人の役に立つ人間になりたい	95.5	94.0	+1.5	95.4	93.7	+1.7	95.6	94.0	+1.6	95.7	93.7	+2.0
3 いじめはどんな理由があってもいけない	97.2	96.4	+0.8	97.4	96.2	+1.2	95.2	93.4	+1.8	95.8	93.7	+2.1

【基本的な生活習慣など】

調査項目	小 学 校						中 学 校					
	H26			H27			H26			H27		
	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比	本県	全国	全国比
1 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う	85.8	82.0	+3.8	88.7	86.3	+2.4	66.2	71.5	-5.3	77.2	79.7	-2.5
2 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う	73.7	71.9	+1.8	77.5	75.3	+2.2	50.4	53.3	-2.9	58.7	59.3	-0.6
3 国語の授業の内容はよく分かる	77.6	80.1	-2.5	80.1	82.0	-1.9	68.1	72.0	-3.9	71.4	74.3	-2.9
4 算数(数学)の授業の内容はよく分かる	80.3	79.6	+0.7	82.8	81.0	+1.8	72.8	71.5	+1.3	72.0	71.6	+0.4
5 理科の授業の内容はよく分かる	斜線	斜線	斜線	87.0	87.9	-0.9	斜線	斜線	斜線	65.9	66.8	-0.9
6 毎日朝食を摂取	96.2	96.0	+0.2	96.2	95.6	+0.6	95.4	93.5	+1.9	95.4	93.5	+1.9
7 授業以外に1時間以上(中学校は2時間以上)の学習をしている(月～金)	65.3	62.0	+3.3	67.3	62.7	+4.6	32.5	35.1	-2.6	33.9	35.7	-1.8
8 テレビやビデオ、DVDの視聴時間が1時間未満(月～金)	13.5	14.1	-0.6	14.7	15.4	-0.7	16.4	16.2	+0.2	16.7	16.6	+0.1
9 テレビゲームの使用が1時間未満(月～金)	52.8	45.2	+7.6	52.7	45.3	+7.4	51.9	43.5	+8.4	51.6	42.0	+9.6
10 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用が1時間未満(月～金)	88.9	84.9	+4.0	86.9	83.1	+3.8	60.9	52.0	+8.9	62.4	52.1	+10.3

・斜線の年度は、その項目の調査なし